

年月日

25 | 12 | 08

ページ

01

N O.

**信金連携で
製造業支援**

西武信金など
中小の受注後押し

信用金庫が地域を超えて顧客である中小の製造業を支援する全国初のネットワークが発足する。都内や多摩地域が地盤の西武信用金庫（東京都中野区）と、同社子会社である地域商社が2025年度内にも創設する連携の枠組みに、自動車産業などの集積地である群馬や埼玉、神奈川県など関東地方の四つの信用金庫が参画を検討している。地域金融機関ならではの顧客企業との緊密な関係や情報網を広域化し、域外企業との協業や受注獲得につなげ、「本業支援」を目指す。

よる連携の枠組みを作り、製造業が集積する全国各地の信用金庫に参画を呼びかける。

すくなつた。
関西や東海地方など
を中心に、これまでに
設立された信用金庫発

より連携の枠組みを作り、製造業が集積する全国各地の信用金庫に参画を呼びかける。今後、それぞれの信金の取引先が他地域との協業に踏み出すため、マッチングや製造委託、技術移転のほか、大手企業からの受注獲得など継続的な取引につなげるための支援策を具体化する。

取り組みの背景には、信用金庫による出資規制緩和がある。21年に信用金庫法が改正され、一定の条件を満たす地域商社を子会社として保有できるようになり、地元企業の販路拡大などを後押ししや

関西や東海地方などを中心、これまでに設立された信用金庫発の地域商社は農産品など地域資源の販路開拓が中心だった。これに対し、西武信用金庫は25年夏に設立した地域商社は、地域商材の販路拡大に加え、モノづくり企業の支援にも軸足を置いている点に特徴がある。西武トレーディングTOKYOの長澤貴淑社長は、高市早苗政権が掲げる地方に投資を呼び込む「産業クラスター戦略」にも呼応し、「今回の枠組みを発展したい」と意欲を示している。

西武信用金庫と100%子会社の西武トレーディングTOKYO（東京都中野区）が「ものづくりネットワークShinkin-JAPAN（仮称）」として、25年度にも創設する。参考を検討する信用金庫はいずれも取引先に自動車部品や半導体、機械など製造業が多い。まずは関東地方の5信金と地域商社に

